

ニック・ノルティ

ジェームズ・コバーン

シシ・スペースク

ウィレム・デフォー

「これはわたしの兄の奇妙な犯罪行為と失踪の物語である…」

『タクシードライバー』『救命士』の脚本家
ポール・シュレイダー監督作品

白い刻印

Affliction

第71回アカデミー賞 最優秀助演男優賞(J.コバーン)受賞
第71回アカデミー賞 最優秀主演男優賞(N.ノルティ)ノミネート
全米映画批評家協会賞 最優秀主演男優賞受賞
ニューヨーク映画批評家協会賞 最優秀主演男優賞受賞

原作:ラッセル・バンクス「狩猟期」早川書房刊
配給:株式会社東北新社 <http://www.tfc.co.jp/hiroba>

LARGO ENTERTAINMENT PRESENTS A REISMAN/KINGSGATE PRODUCTION A FILM BY PAUL SCHRADER NICK NOLTE JAMES COBURN SISSY SPACEK AND WILLEM DAFOE "AFFLICTION"
MARY BETH HURT JIM TRUE MUSIC BY MICHAEL BROOK EDITED BY JAY RABINOWITZ PRODUCTION DESIGNER ANNE PRITCHARD DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY PAUL SAROSSY, C.S.C. EXECUTIVE PRODUCER JOSETTE PERROTTA
PRODUCED BY ERIC BERG FRANK K. ISAAC EXECUTIVE PRODUCERS NICK NOLTE BARR POTTER BASED UPON THE NOVELS BY RUSSELL BANKS PRODUCED BY LINDA REISMAN WRITTEN FOR THE SCREEN AND DIRECTED BY PAUL SCHRADER
©1997 LARGO ENTERTAINMENT, INC. LARGO

人はいつ、何によって変貌するのか？ 全米批評家も惚れ込んだ珠玉の人間ドラマ

『タクシードライバー』『レイジング・ブル』といった作品で脚本家として、また『アメリカン・ジゴロ』でリチャード・ギアをトップアクターに押し上げるなど監督としても才能を高く評価されているポール・シュレイダー。彼がラッセル・バンクスの『狩猟期』を原作に脚本/監督を務め、全米批評家がこぞって絶賛した衝撃作がいよいよ日本で公開される。

時代の閉塞感とアメリカ社会の暗部を反映する切実な物語、その奥にあるギリシア悲劇にも通じる深遠なテーマ、さらに本作でアカデミー賞はじめ数々の賞を獲得したニック・ Nolティ、ジェームズ・コバーンらの演技が、深く、切なく、観る者の心を揺さぶる。そして、目も眩む白い雪景色を背景に、父によって刻まれた暴力の記憶を拭い去れずに苦悩する一人の男の怒りと哀しみを描きながら、映画は、血の絆、自己との対峙といった普遍的なテーマを我々に問いかける。衝撃的なラストに込められたメッセージには、誰もが真摯な思いを抱かずにはいられない。

弟のモノローグで語られる兄ウェイドの失踪に至るまでの心の軌跡

雪深い静かな田舎町に住む警官ウェイド・ホワイトハウス。彼にとって人生は厳しかった。子供の頃はアル中の父の暴力に怯え、妻とは離婚していた。一方、一人娘を連れて町を出た彼女は、彼よりずっと裕福な男と再婚している。町を出るチャンスがあった者はとっくに去っていた。今では都会で大学教授をしている彼の弟もその一人だった。

ある日、州の組合幹部が狩りの最中に事故死する。しかし、その背後に陰謀があると疑った彼は独自に調査を開始する。ウェイドにとって、この事件の解決はこれまでの人生を取り戻す契機になるはずだったが、自分の中の父の影に怯え、運命を変えようともがくなかで、彼は思いもよらぬ方向へひた走っていることを知る…。



J・コバーンのアカデミー受賞はじめ数々の賞に輝く俳優陣&スタッフ

原作に惚れ込んだシュレイダーは、主人公ウェイドに『シン・レッド・ライン』のニック・ノルティを据え、その父に『ベイバック』のジェームズ・コバーン、そして物語の語り部でもある弟に『イングリッシュ・ペイシエント』のウィレム・デフォーを起用。さらに撮影監督にバンクスの原作/アトム・エゴヤン監督作『スイート・ヒアアフター』でも撮影を担当したポール・サロシーを、美術に『スネーク・アイズ』のアン・プリチャードを擁し、まさに万全の体制で映画化に挑んだ。

その気概は、昨年発表されたアカデミー賞で主演・助演男優が揃ってノミネートされ、本作で往年のアクション・スターという概念を払拭する演技を見せつけたコバーンが最優秀助演男優を受賞、主演ニック・ノルティが全米映画批評家協会賞/ニューヨーク映画批評家協会賞はじめ数々の賞に輝くという形で昇華された。

「二人で行う芸術活動は神の存在の証明となろう」ポール・オースターが賛辞を贈るシュレイダー×バンクスのコラボレーション

『スイート・ヒアアフター』以来、著作の映画化が続々と予定されるラッセル・バンクスのピュリツァー賞候補にもなった彼の自伝的小説であり、映画化2作目となる『狩猟期』は、これまでシュレイダーが追求してきた「暴力」「強迫観念」「社会の暗部」といった主題と見事に一致する。バンクス自身「自分が見ている夢の中へ入っていくようで、実は他人の夢だったという感じだ」と語るように、PEN/ファークナー賞候補にもなった原作の重厚さ、奥深さを削ぐことなく映像化された本作でのコラボレーションは、シュレイダーの代表作と呼ぶべき珠玉の人間ドラマを誕生させた。

“雪の中の『タクシードライバー』”(ニューヨーク・タイムズ)

“永久凍土の景色に、深い畏怖の念や人間の脆さ、
儚さが象徴されている”(タイムアウトNY)

“この映画は万人にとってのクリスマスツリーには
ならない。しかし、暗闇に光明を投じる映画だ”(ヴァリアエティ)

“深い人間洞察に基づく演技”(ロサンゼルス・デイリーニュース)

監督+脚本:ポール・シュレイダー
撮影:ポール・サロシー/美術:アン・プリチャード
出演:ニック・ノルティ、ジェームズ・コバーン
ウィレム・デフォー、ジシー・スペイセク

1997年/アメリカ映画/上映時間:1時間54分/ドルビーSR/カラー
ヴィスタ・サイズ/日本語字幕・林 完治
原作本:『狩猟期』早川書房刊
©1997 LARGO ENTERTAINMENT, INC.



6月24日(土)よりロードショー

特別鑑賞券発売中: ¥1,600 当日料金: 一般¥1,800/学生[大・高]¥1,500
シニア・中学生¥1,000(税込)

初日、シュレイダー監督直筆サイン入ポスターのプレゼントあり(11:15の回のみ抽選で10名様)

新宿武蔵野館
シネマ・カリテ
03(3354)5670

連日	11:15	1:45	4:15	6:45
----	-------	------	------	------

http://www.musashino-k.co.jp

各回入替制

新宿武蔵野館
シネマ・カリテ
アルタ
三軒茶屋
有明
新宿駅

配給: 株式会社東北新社 <http://www.tfc.co.jp/hiroba>